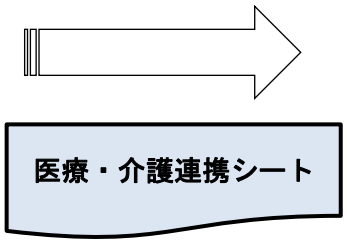
岩手西北医師会認知症地域支援ネットワーク作成

医療・介護連携シート　活用の手引き

１．目的

この「医療・介護連携シート」は、滝沢市内の介護支援専門員や地域包括支援センターが、医療機関の先生と、認知症相談に関してスムーズな連携が図られることを目的として作成しました。

【シートを利用する場合】
介護支援専門員や地域包括支援センターが担当する高齢者について、医療機関に認知症に関する相談や情報提供の必要性が生じた場合に利用します。



【本シートが利用可能な医療機関】

- **ゆとりが丘クリニック**
- **かなもり神経科内科クリニック**
- **高橋胃腸科内科クリニック**
- **こんの神経内科・脳神経外科クリニック**
- **滝沢中央病院**

※その他の医療機関へは本シートの目的をお伝えしたうえでご活用ください。

２．連携シートを活用することの効果

○受診するにあたり、必要な情報が整理されている。
→　受診時の問診等の時間短縮に繋がる。
○医療機関と介護支援専門員との顔の見える関係づくりに役立つ。

３．活用にあたっての注意事項

○原則、ご本人・ご家族の同意を頂いた上で医療機関へ提示してください。
○記入した連携シートは、医療機関へ持参し窓口や看護スタッフへ渡してください。
（個人情報保護の観点からも、ＦＡＸ不可として運用します。）

※連携シートは Word で作成しています。
※滝沢市のホームページで『認知症支援』と検索し《滝沢市　認知症の人とその家族の支援について》のページ下方からダウンロード出来ます。

問い合わせ：滝沢市地域包括支援センター
電話　656-6523

例えばこんな時、連携シートが役に立つ！

受診に家族が同行できない or 同行する家族が本人の様子をあまり詳しく伝えられない

…様々な事情で家族が受診同行出来ないケースやあるいは本人の状態を詳しく分からない家族が同行するケースなどが想定されます。せっかく受診しても主治医に症状が正しく伝わらないと治療や薬の調整が不十分になることも考えられます。

→連携シートを用いることで、予め主治医に大切な情報を落とさず伝えることが出来ます！

同行した家族が病状を整理して伝えられない

…同行した家族が日頃の介護の苦労などを訴えることが主となってしまい、病状を整理して伝えられない、伝えるべきことを上手くまとめられない、というケースもあります。

→治療方針を決めるために必要な情報を予め伝えておくことで、限られた診察時間の中での聞き取りがスムーズになります！

初診時には確認するべき事項が多数あり、聞き取り時間が長くなる

…他の疾患との鑑別、認知症の病型はなにか、病歴聴取の他にも、家族背景、介護環境の把握、家族の困りごと、希望するサービスなど、初診時には聞き取る内容が多数あり診察時間や待ち時間が長くなってしまい、本人や家族の負担となってしまいます。

→連携シートで事前に必要な情報を整理しておくことで病院ではその確認を行うだけで済み、大事な本題の部分へと時間を割けるようになります！

家族の疲弊から「即入院」を希望されて根本的な解決とならない

…疲弊感の強い家族から「とにかく入院させてほしい」という希望が出てくることもあるようです。ですが、一時的な入院やショートステイの利用などは、あくまでも短期的な避難に過ぎず、根本的な解決とはなりません。

→連携シート作成を通して、本人や家族の抱える問題や課題を整理し、より長期的な解決に向けて考えたり向き合ったりする機会になります！